

敦賀市新庁舎 高校生タイムカプセルプロジェクト(仮称)
第1回会議資料

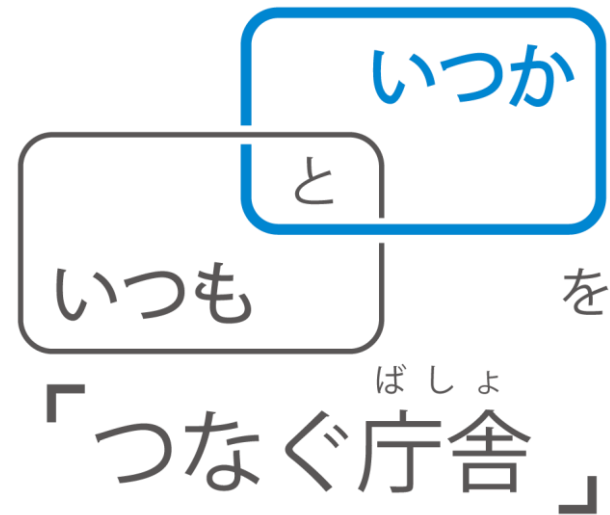
次第

- ・自己紹介
- ・概要説明
- ・プロジェクト正式名称
- ・質疑応答

令和2年11月17日(火) 午後5時から
敦賀市役所 4階 401会議室

敦賀市庁舎建設工事 工程表

工事種別	2020年(令和2年)												2021年(令和3年)														
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月						
	▽ 新築工事着手												新築工事竣工▽														
市庁舎	準備・解体工事	準備・解体工事																									
	山留・杭工事	山留め工事		杭工事																							
	基礎躯体・免震装置工事				土工事		基礎躯体工事				免震装置工事																
	地上躯体工事									地上躯体工事																	
市庁舎	仕上工事										外部仕上工事						外構仕上工事										
												内部仕上工事															
																				試運転・検査							
附帯工事	窓口家員工事										施工图作成		材料調達		製作		据付										
	多目的ホール等家員工事										施工图作成		材料調達		製作		据付										
	サイン工事										施工图作成		製作					据付									
	電気・機械工事				電気・機械工事												試運転・検査										
タイムカプセルプロジェクト(仮称)	会議											市役所・現場見学		1回目		2回目		3回目		製作							



新庁舎建設にあたり、基本構想で策定された4つの基本理念に基づき、基本計画時に実施した学生ワークショップで導き出された「いつもといつかをつなぐ庁舎（ばしょ）」というキーワードを踏まえ、以下の通り基本設計のコンセプトを設定しました。

基本計画の基本理念

- ① 市民の安全安心を確保した災害に強い庁舎
- ② 市民が利用しやすい親しみの持てる開かれた庁舎
- ③ 人にやさしい環境にやさしいストレスフリーな庁舎
- ④ 行政サービス提供のための機能性に優れ柔軟で効率的な庁舎

基本設計のコンセプト

- 「日常」と「災害時」をつなぐ庁舎
- 「毎日」と「特別な日」をつなぐ庁舎
- 「人」と「自然」をつなぐ庁舎
- 「いま」と「未来」をつなぐ庁舎

①「日常」と「災害時」をつなぐ庁舎

防災拠点として震度7程度の複数回地震に耐えられる性能とし、業務継続性の高い庁舎とします。
また、市庁舎と消防庁舎を融合し、一体的な建物とすることで、来庁者の防災意識を高めるとともに、安心の拠点をめざします。

③「人」と「自然」をつなぐ庁舎

様々な来庁者に快適に利用いただけるよう、ユニバーサルデザインを徹底した計画とします。
人にも自然にも負荷の少ない庁舎として、省エネルギー・省資源対策への取組みを実現します。

②「毎日」と「特別な日」をつなぐ庁舎

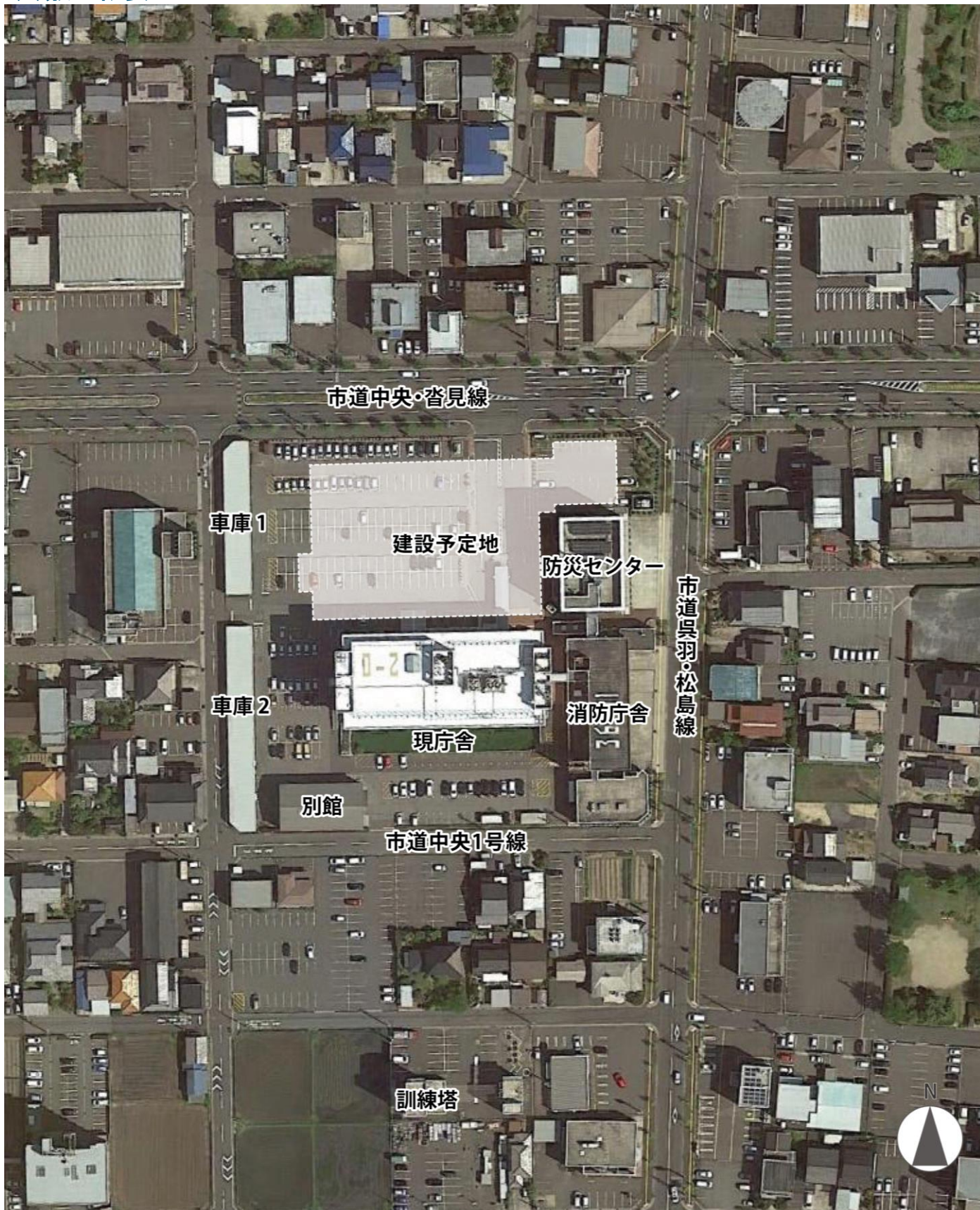
日常の延長線上にある市庁舎として、誰もが気軽に利用できるホールやギャラリー、発表活動ができるスペース等を設け、開かれた庁舎を目指します。
ワンフロア型の窓口とすることで、市民のライフイベントに即した分かりやすいサービス提供が可能な市庁舎とします。

④「いま」と「未来」をつなぐ庁舎

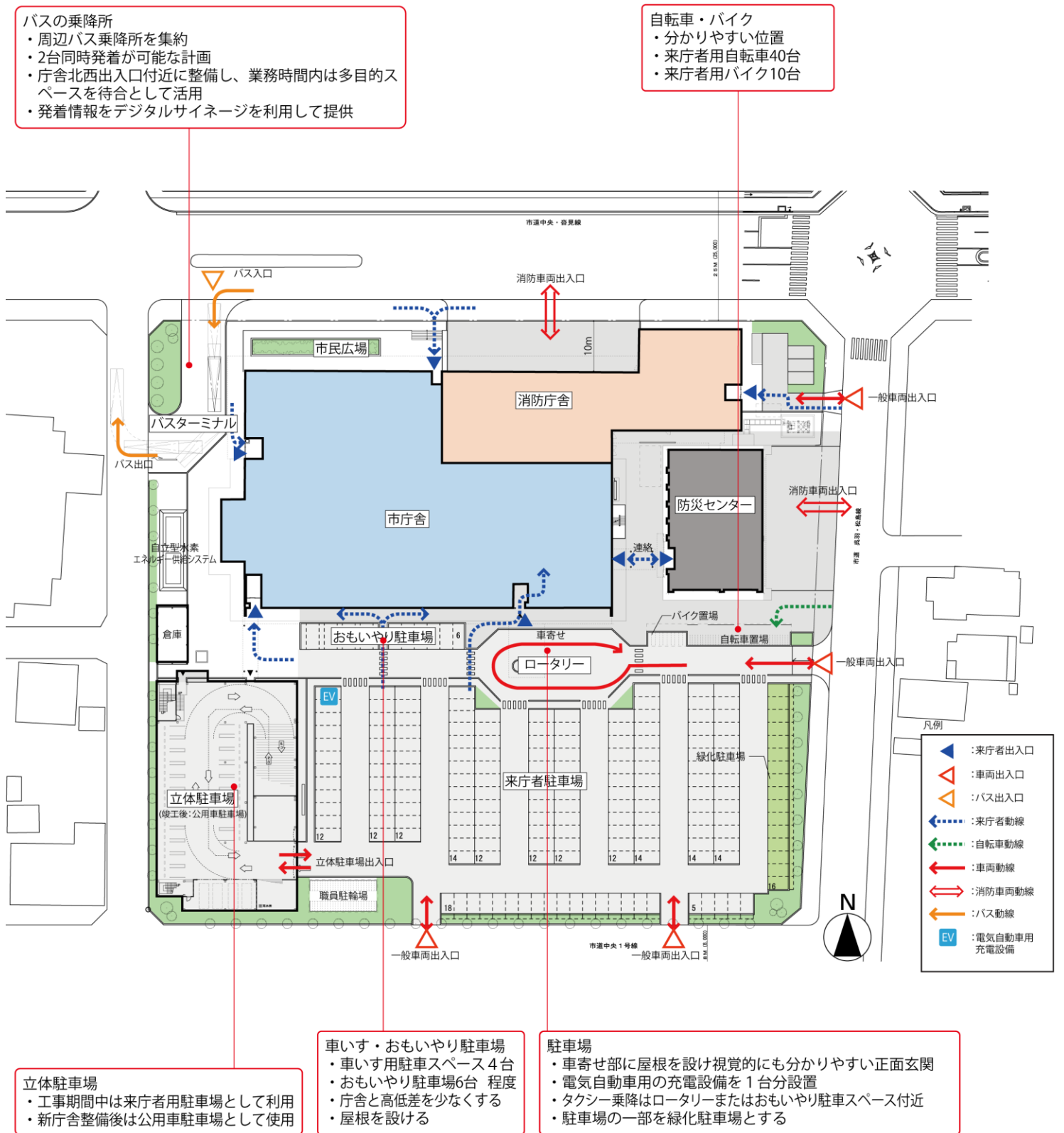
社会情勢や市民ニーズの変化による行政組織の改変や行政サービスの見直し等、将来の変化にフレキシブルに対応できる柔軟性を確保します。
次世代にも親しまれる庁舎として、敦賀の風土を織り込んだデザインとします。

計画概要

(1)敷地概要



(2)施設配置





北面



南面

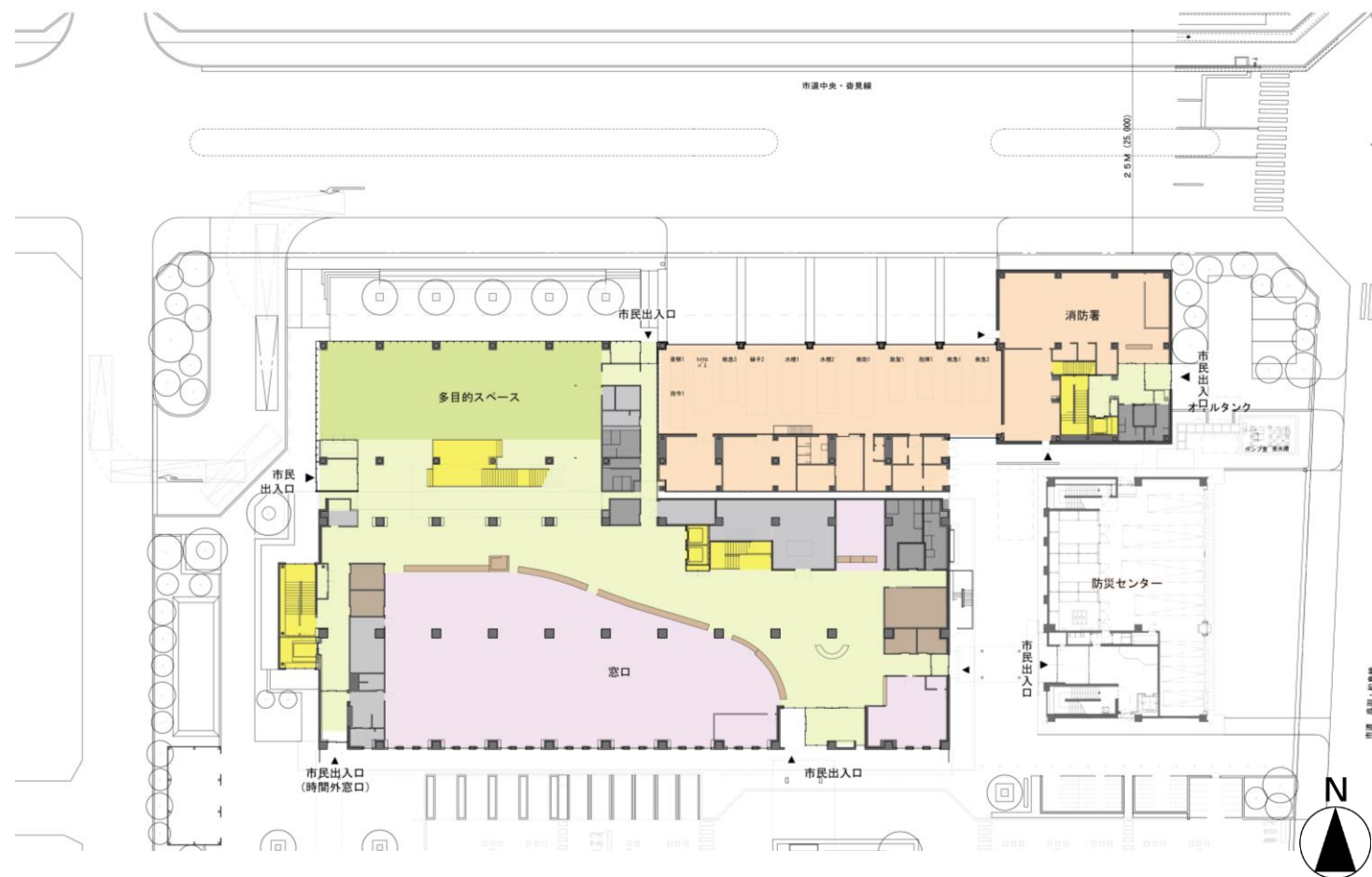
■ 外観の色調イメージ

- ① 市庁舎と消防庁舎をつなぐ「白いフレーム」
- ② フレームを引き立てるダークグレイ

平面計画

■1階

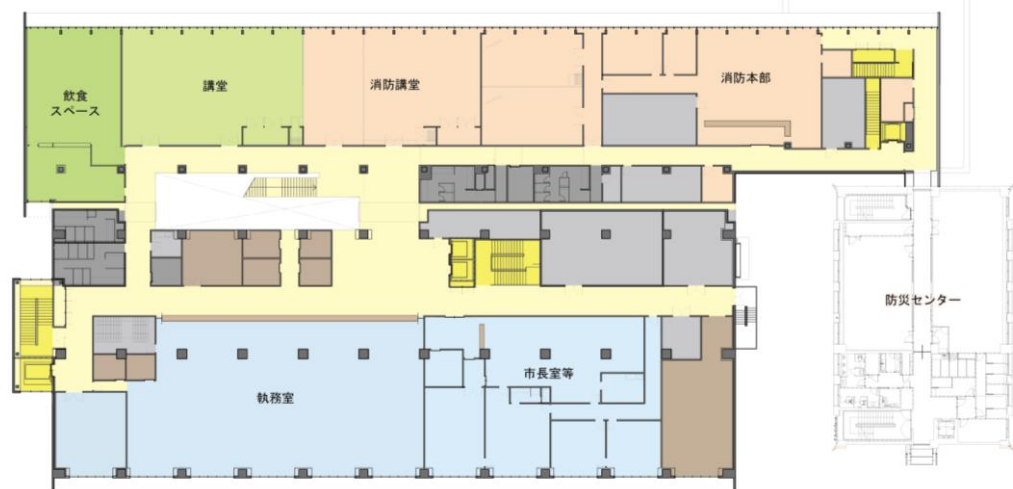
- ・多目的スペースと市民窓口部門を1階に集約し、市民が利用しやすい計画とします。
- ・移動手段に応じてどこからでも市民がアクセスしやすいよう、出入口を複数設けます。



■1階イメージ図

■2階

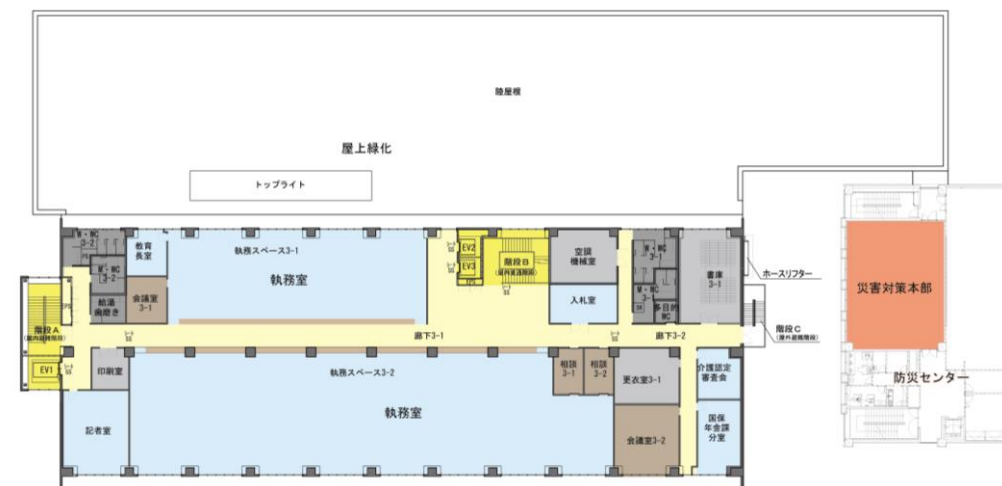
- ・市庁舎エリアは、企画部門、管理部門、市長室や応接室を配置し、市民に開かれた計画とします。
- ・講堂エリアは市庁舎講堂と消防講堂を隣接配置し、移動間仕切りによりフレキシブルな運用が可能な計画とします。



■2階イメージ図

■3階

- ・主にインフラ整備を行う事業部門及び教育委員会を配置します。
- ・執務室は可能な限りひとつながりで広く確保し、将来の機構改革などにフレキシブルに対応可能な計画とします。



■3階イメージ図

■4階

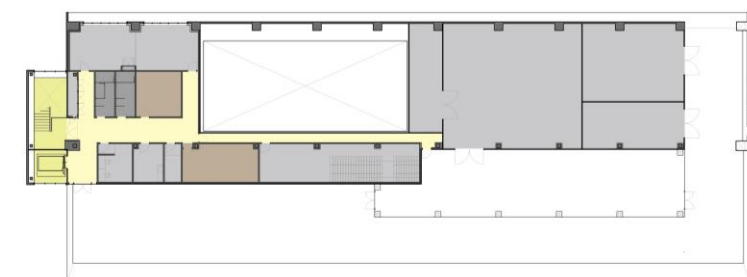
- ・議場を擁する議会部門を集約して配置します。
- ・委員会室の一部については、職員用の共用会議室として使用可能な計画とします。
- ・市庁舎共用の集密書庫を設けます。



■4階イメージ図

■5階

- ・最上階には、新庁舎に不可欠な設備室を集約配置し、効率的なエネルギー管理を行います。
- ・職員休憩室等の職員関連諸室及び共用の集密書庫を設けます。休憩室は災害時には職員等の仮眠スペースとして利用可能な計画とします。



■5階イメージ図

■ 執務エリア	■ 消防エリア	■ 多目的スペース、講堂	■ トイレ	■ 階段、エレベーター
■ 窓口	■ 議会	■ 会議室、相談室	■ 倉庫、機械室等	■ 共用部



■ 窓口カウンターイメージ

- ① プライバシーに配慮した窓口カウンター
- ② ボーダーサインによる効果的なサイン誘導



■多目的スペースイメージ

- ① 松原海岸の「白砂青松」をイメージした床タイル
- ② 木質のやさしいイメージ

階段の手すりや壁面ルーバー、照明BOXや家具など、効果的に木質材を散りばめた、やさしい多目的スペース



■吹抜け階段のイメージ

- ① 吹抜けをダイナミックに強調する木ルーバー
- ② 連結制震ダンパーを見せるデザイン
- ③ 木をつかったやさしい階段

- ① 進路が定まっていない生徒には、負担をかけないけど、全員参加できること。
- ② 人それぞれに得手・不得手があるけど、全員参加できること。
- ③ 全卒業生一人一人の個性が表現できること。
- ④ 3校とも同じ企画とすること。
- ⑤ 令和2年度卒業生と令和3年度卒業生とは、別の内容とすること。
- ⑥ 誰かの意見を批判したり、批評したりしないこと。

⇒今回の企画に関わらず、面白い企画案がありましたら、実現に向けてがんばりますので、別途ご協力をお願いします。

■ソフト面

「市民協働」

- ① 障がい者が活躍できる活動を企画したい。
- ② 市内製造工場の製品を応用したい。

「企画」

- ③ このプロジェクト会議の正式名称を決定したい。
- ④ 建物の特徴を生かしたイベントをしたい。
- ⑤ 竣工式の記念品を企画したい。

「ブランディング」

- ⑥ ロゴマークを作りたい。
- ⑦ 建物の特徴をPRする動画を作りたい。

■ハード面

「建物」

- ① 広く長い壁面があるが、装飾をどうするか。
- ② 広く長いガラス面があるが、装飾をどうするか。
- ③ **議場床のデザインをどうするか。**

「ユニバーサルデザイン」

- ③ 誰にも分かりやすいサインの形や色をどうするか。
- ④ 外国人に分かりやすい手続きや施設の案内方法をどうするか。

「施設利用」

- ⑤ 会議室の表記をどうするか。
現在「301」⇒「3」が階「0」がハイフン「1」が番号
- ⑥ 多目的スペースの活用方法と家具等の設えをどうするか。
- ⑦ 敦賀の名産品の展示をどうするか。